



京都市

京都市脱炭素先行地域づくり事業補助金のご案内

「文化遺産の脱炭素転換」の取組

- 京都市は、国が進める「**脱炭素先行地域（※）**」に選定されたことを受け、令和5年度から市内で脱炭素転換に取り組んでおり、その取組の一つとして、**「文化遺産の脱炭素転換」**を進めています。
- これは、**寺社などの文化遺産**において、太陽光など再エネ設備・蓄電池の設置や、省エネ機器への更新、再エネ電力への切替を進めていただくことで、脱炭素化の実現を目指していく取組です。

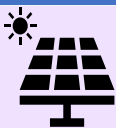
※「脱炭素先行地域」とは、2050年カーボンニュートラルの達成に向けて国が進める取組の一つで、2030年までに電力消費に伴うCO₂排出量正味ゼロを実現していく地域です。

「文化遺産の脱炭素転換」の具体的なアクション！

**取組①～③のうち可能な取組（補助金2/3） + 取組④（必須）を実施
⇒ 電力の使用に伴うCO₂排出をゼロにし、脱炭素転換を実現**

取組① つくる

寺社施設や関連施設等への
太陽光パネルの導入
駐車場・併設施設など導入箇所を工夫



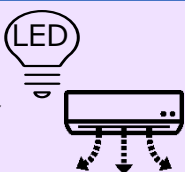
取組② ためる

太陽光パネルと併せた
蓄電池の導入



取組③ へらす

調光式LED照明機器、
省エネエアコンへの切替



取組④ きりかえる

電力契約を
再エネ100%プランへ
切り替え

**必須
条件**

取組効果



- ・ 太陽光パネルで発電した電力を自家消費することで電気料金を削減
- ・ 太陽光&蓄電池により、停電時の電源として活用可能
- ・ 地域のコミュニティ拠点である寺社が取り組むことで、地域の災害対応力の強化や、SDGs・環境問題への取組の波及にも貢献



これらの取組を促進するための補助制度を設けています！
補助金の概要は裏面に記載しています。



京都市

補助金の概要について



補助対象者

寺社施設及び寺社関連施設

※「関連施設」の要件は、施設が寺社の敷地内または近接して一体と見なせる土地にあることと寺社の関与が分かることとしています。

補助率

補助対象経費の **2/3**

補助対象期間

令和5年度～令和9年度 **(5年間)**

対象設備

太陽光パネル、蓄電池、調光式LED照明機器、省エネエアコン

※「LED」「エアコン」のご活用は寺社施設への導入に限ります。

対象経費

補助対象機器を新たに導入する際の設備本体費、設置工事費

気になる質問

Q1 景観や風致などの規制で太陽光パネルの設置は厳しいのでは？

⇒ **設置が全くできないのは一部のエリア**で、設置方法を工夫することで太陽光パネルを設置できる可能性はあります！

Q2 初期費用はどれくらいかかるの？

⇒ たとえば、一般家庭で5kWの太陽光パネルを導入する場合の試算例は以下のとおりです。

取組項目	導入費用等	備考
太陽光パネル	130万円 (内、85万円 補助対象)	日中に発電した電気を消費(約83,000円(年間)節約)

※ **導入費用の2/3が補助**されるため、通常130万円の初期費用を45万に抑えられます。

Q3 それでも初期費用の負担が大きい場合はどうすればいいの？

⇒ **初期費用0円**で太陽光と蓄電池を設置できるPPAモデル(※)という手法もあります。そのほか、ファイナンスリース契約により設置いただくことも可能です。(要事前相談)

※PPAモデルとは、建物の屋根をお貸しいただくと、PPA事業者が太陽光パネル等を設置・管理し、発電した電気は寺社で利用できる仕組みで、皆様はご利用分の電気料金のみをお支払いいただく形です。(設置・維持管理⇒事業者、電気利用⇒寺社、余剰電力の活用⇒事業者)

令和5年度 ご活用事例

壬生寺さま(太陽光・蓄電池) 妙福寺さま(太陽光・蓄電池)



少しでもご関心をお持ちいただけましたら、お気軽にご連絡ください！

ポータルサイト
「脱炭素京都」は
こちらから⇒

